

# 薬学会北陸支部・北陸大学薬学部

## 特別講演 合同開催

14:45~15:30 北陸大学薬学部特別講演

講師 **森川吉博 教授**

和歌山県立医科大学医学部

**演題：石の上にも？年**

**～オンコスタチンM研究の新展開～**

1986年に初めて、IL-6ファミリーのサイトカインとしてヒトで同定されたオンコスタチンM（OSM）ですが、その機能の解析はほとんど進展しませんでした。そして約10年後、ようやくマウスOSMとその受容体が同定され、その欠損マウスの作製に至りますが、当初は異常をほとんど見出されませんでした。森川先生の研究室では、近年、それらのマウスで神経系、代謝系等でいくつかの重要なフェノタイプを発見し、現在はOSMを分子標的とした創薬をめざしています。講演では、オンコスタチンM研究の歴史とその展望についてお話しいたします。

15:30~16:30 薬学会北陸支部特別講演

講師 **北村俊雄 教授**

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター

**演題：仮説と検証**

**～レトロウイルス、造血幹細胞、  
シグナル伝達研究を通して～**

北村先生はレトロウイルス、造血器腫瘍、造血幹細胞、免疫アレルギー、シグナル伝達、細胞周期、転写因子、エピジェネティクスなど、様々な分野で先駆的なご研究を展開してきました。今回の講演では、仮説は間違えていなかったけれど証明するに至らなかった研究を中心として、北村先生のご研究経験を紹介していただきます。講演を通じて、研究の楽しさや面白さ、仮説の見つけ方など、科学者に向けてヒントになるようなことをお話しいたします。

ご自由にご参加ください

【日時】2019年6月21日（金） 14：45～16：30

【場所】北陸大学 薬学キャンパス アネックスファーム 3階 301A 講義室

（金沢市金川町ホ3番地 本部棟脇駐車場あり）

連絡先：北陸大学薬学部 薬学臨床系 薬理学分野 松尾 由理

Tel 076-229-6193 E-mail: y-matsuo@hokuriku-u.ac.jp